

全国

検数労連

624号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



謹賀新年

明けましておめでとうござい
ます。

今年も産業別・職能別労働
運動の進展を職場とともに推
進できるよう祈願致します。

最初に昨年までの流れで
は、海運・港湾の背景として、
これまで船会社の共同運航化
やONEのようにコンテナ部
門の合併で新会社を設立する
など海運の競争激化がさらに
進み、船社・元請の集約合併
が行われています。また、船

会社によるインランドデポ
（内陸保税蔵置場）なども内陸
に建設されています。

産業別の経緯では、国土交
通省が推進しているRTG遠
隔操作の費用補助で、昨年応
じた名古屋港に加え、今年度
の対象各港の動きが気にかか
るところです。しかし、いず
れにしても労働組合（現場で
働く多くの労働者）の意見を
抜きにしたシステム導入は止
めさせなければなりません。



産業別の労使関係では標準者
賃金・産業別最低賃金など中央
港湾回交で協定してきた産業
別賃金が2017年で止まっていま
す。中央労働委員会へのあつせ
んも成果が得られず、今後の進
展については予測できません。

検数関係では2020年の東京オ
リンピック・パラリンピックに
向けて鉄鋼関係などが国内向
け生産に傾斜したことなどで、
輸出トン数が伸び悩み、自動車
関係もアメリカ関税の影響を
受けて厳しい状況となりました。

中古自動車の放射能測定業
務ではユーザーより（検査を）
終わりにして欲しい旨の申し
出がありました。が、港湾労働者
の健康と安全を担保できるも
のはなく、各元請に扱いが任せ
られています。

昨年は各地で台風などの自
然災害が社会的にも大きな影
響を与えています。特に関東に
襲来した台風15号、19号は強
風・水害と重なった要因の大災害
をもたらしました。損保査定業
務は発生主義の特性はありま
すが、職場で人員不足の続く
中、これほど規模の大きな災害
では「その時の対応」にも限界
があります。

最後に、機関紙で各地域・支
部にはお伝えしましたが、先々
代検数労連中央委員長北畑
さんが昨年11月26日、おこ
なりのになりました。検数労連中
央の委員長を2009～2010年度、単
組である日検労中央の委員長
を2005～2010年度にわたって努
めていただきました。ちょうど

私が東京から日検労中央の中
央執行委員に選出された期間
です。日検労東京支部では書記
長職に着いたばかりで、経験も
浅くスキルも低い私に、北畑さ
んは事務実務や中執のあり方
など気さくに指導してくださ
り、私も大いに勉強させて頂い
たことが思い出されます。出身
地域・支部や年代など違いがあ
ったにせよ、中央の役員体制の
中で幅広く助け合い支え合う
事の重要性をその時確信した
のを覚えています。改めて「冥
福をお祈りいたします」。

検数労連中央では全国各地
域へのオルグ、若手を中心とし
た全国学習交流会の開催、全国
港湾は港湾労働セミナー、ま
た、全労連の「わくわく講座」、
学習協の通信講座など様々な
学ぶ機会を設置して、組織の強
化・拡大や将来の組合役員を育
成する活動の充実を図ってい
ます。

地域・支部でも独自学習会や
職場集会などを通して、知識と
経験、意識の高い組合役員と組
織を目指して行きます。

今年の子年です、ねずみマ
ウスは研究動物として使われ
ますが、よく遺伝子の説明など
にも出てきます。私たちも先輩
方の「労働組合の遺伝子」を継
ぐ者として、これをより発展さ
せ、明日へ繋げていきたいと思います。

全国検数労働組合連合
中央執行委員長 瀬戸 修

ハッチリスト

十二支の最初がネ
ズミになったわけ
昔、神様が動物たち
に、元日の朝に自分
の家に到着したもの
から順に干支として
あげようと言いまし
ました。足の遅い牛は朝早く出
発し、まだ誰もいない神様の
家に到着。すると牛の背中に
隠れていたネズミが飛び降り
て1着を奪い、牛は2着にな
ってしまっただとか▼この
話には続きがあります。ネズ
ミにわざと違つ日を教えられ
たネコは番外となり、恨んだ
ネコはそれ以来、ネズミを追
い回すようになったとの事
です▼ネズミの語源と日本人と
のつきあい。ネズミはなぜネ
ズミと呼ばれるようになった
のか。その語源には諸説あり、
例えば人の食料を取ることか
ら「盗み」が転化してネズミ
になったとか、あるいは人が
寝ている夜に盗むから『寝盗
む』に由来するとい説があ
ります。また、夜に動き回る
習性に着目した『不寝見』（寝
ずに見る）という説も伝わっ
ています▼人間とのつきあい
もものすく長く、現存する
日本最古の書物『古事記』の
なかには、大國主命（オオク
ニヌシノミコト）が『根の国』
の野原で燃えさがる炎にまか
れたとき、子連れのネズミが
現れて大國主命の命を助けた
という神話が載っていること
から、ネズミを神様の使いと
してあがめる地方もありま
す。